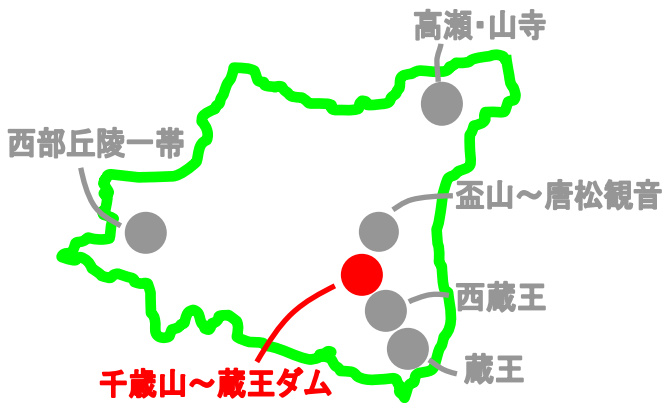


# 千歳山～蔵王ダム(春～夏)

やまがた自然散策ガイドマップ



## 山形市環境部環境課

〒990-8540  
山形市旅籠町二丁目3番25号  
TEL: 023-641-1212 FAX: 023-624-9928

## 千歳山～蔵王ダムで見られる動植物



＜マルバマンサク＞

春一番に花を咲かせることから「まず咲く」でマンサクという説があります。マルバは日本海側のマンサクの葉が丸い事から付いた名です。蕾の時期に虫が入った虫こぶを良く見かけます。  
(花期 4月～5月)

ユリ科の多年草にしては少数派の常緑の葉を持ちます。花の後に種子を作り、それでも新しい個体を作ります。3年目を迎えた葉の先に芽をつけています。  
(花期 4月～5月)



＜ショウジョウバカマ＞



＜ヤマツツジ＞

キタコブシによく似ていて混同されます。花の時期に花の脇に葉の付くものがキタコブシ、葉の無いものがタムシバとよく言われますが、あてになりません。葉芽の芽鱗に毛の無いのがタムシバです。  
(花期 4月～5月)



＜タムシバ＞

## 千歳山～蔵王ダムで見られる動植物



＜ノスリ＞

各地の平地から山地の森林で繁殖し、農耕地や草原などの開けた場所で、ネズミや小鳥などを捕らえます。ホバリングをしながら獲物を探し、ピッピーイとかピューイと高く鳴きます。  
(留鳥・漂鳥)



＜アオジ＞

胸から腹にかけて緑色がかった黄色が目立ちます。平地の林や農耕地、公園などに生息し、ゆっくりした調子でチュッチン チュルリ ティーリユーリーとさえずります。  
(夏鳥・漂鳥)



＜ホオジロ＞

顔は白と黒の模様で、眉斑、ほお腺、のどが白色をしています。平地から山地の草地、農耕地などで見られます。こずえに止まり、胸を張ってさえずり、一筆啓上仕候と聞きなしをします。  
(留鳥・漂鳥)